



〈ホームページ〉

中央小学校だより NO. 12
「心やさしく たくましく」

<http://chuo3131.ec-net.jp/>

令和元年 7月1日
波佐見町立中央小学校
TEL 0956-85-3131
(文責 校長 原 源吾)

1学期まとめの1ヶ月



先週は、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」でした。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様に足を運んでいただきました。本当にありがとうございました。

教育週間の取組や授業参観で見ていただいた道徳の授業等について、ご意見・ご感想がありましたら、連絡帳等でお伝えください。

さて、今日から7月に入りました。例年ならば、この時期は梅雨の真っ只中ですが、今年は3週間も遅い梅雨入りとなったために、例年より7月の訪れが早く感じます。先週から断続的に降り続く雨は、農家には恵みの雨となり、ほっとされたことでしょう。しかし、何度経験しても慣れないのが、この蒸し暑さです。教室の扇風機はどこもフル稼働をしていますが、この蒸し暑さだけは取り除くことはできません。水分補給を十分にしながら、あと3週間頑張らせたいと思います。

7月は言うまでもなく、1学期最後の月。4月に決めた目標が達成できているのか、漢字や計算等、これまで学習してきたことがきちんと身につけているのか等、しっかりと振り返りをさせ、やり残しや不十分な点があれば、忘れず取り組ませるよう指導をしていきます。

また、手伝いや家庭学習の取組、テレビやゲームの約束等、親子で話し合っただけ決めたことについても各家庭で振り返りをさせていただくといいですね。

保護者・地域の皆様、今月もよろしくお願ひします。

「もうすぐ、楽しい夏休み。その前に……」
七月になりました。
皆さんが心待ちにしている夏休みがもうすぐです。楽しみですね！
ところで、四月に立てた自分の目標を覚えていますか？
達成できていますか？
今、ここで振り返ってみるといいますね。
また、今年のキーワード、「聴く」と「ワンストップ」あいさつはできていますか？
やりのこしていること、忘れて終わらせてから、夏休みを迎えるようにしましょう。

◎校長室前廊下「今月のひと言」より



日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	月	あいさつ運動 なかよしタイム クラブ活動60分	10	水	町内ふれあい交流会
4	木	ボランティア集会	19	金	第1学期終業式 集団下校
5	金	学校保健委員会	23	火	サマースクール 水泳教室 面談
8	月	元気タイム 委員会活動	24	水	サマースクール 水泳教室 面談
			※夏休み 7月20日(土)～ 9月1日(日)		

※ 裏面に続く

命を見つめる講話

教育週間初日の6月24日(月)の全校朝会で、命を見つめる講話をしました。話の概要は、下の通りです。

まず、これを見てください。(ビデオ：鼻にフォークが突き刺さったウミガメ)鼻に何かが刺さっていて、ウミガメが苦しんでいます。刺さっているのは、プラスチックのフォークです。

なぜ、フォークが刺さってしまったのでしょうか。

実は、海に捨てられたごみの中にフォークが混ざっていて、それが刺さってしまったのです。痛かったですよね。

では、誰がごみを捨てたのでしょうか?・・・今世界中の海で、プラスチックごみが問題になっています。日本の海にはゴミが散らかっていないのでしょうか。私は、土曜日に川棚の大崎海水浴場に行ってきました。家族連れや若者が泳いでいました。きれいな砂浜でしたが、海水浴場から少し離れた海辺に行ったら、空き缶やビニル袋やペットボトルなどゴミがたくさんありました。

プラスチックゴミとは、ペットボトルやレジ袋等のことです。でも、なぜ、そういう物が海にあるのでしょうか。そう人間が捨てているからですね。皆さんは、ごみを海に捨てたことはありませんか?波佐見は、海がないから捨てることはないですね。でも関係ないと思うのはまちがいです。波佐見でゴミを捨てても海に捨てたことと同じです。なぜなら、波佐見には川がありますが、



この川は海とつながっているからです。波佐見の川は、遠くからはきれいに見えますが、近くに寄ってみると、ビニル袋やペットボトルなどのプラスチックゴミがたくさんあります。今は、草や石のところに引っかかっているので、海には行かないでしょうが、大雨が降れば、流されて海に流れ込んでいくことでしょう。

これは、学校の門の近くに落ちていたごみです。全部プラスチックごみです。このままにしたら、どうなるのでしょうか。風で吹き飛ばされ、川の中に行ってもやがて海にたどり着いて・・・。世界中の海がゴミだらけになってしまいます。汚いですね。

汚いだけではなく、さっきのウミガメのように、生き物の命まで脅かすことになってしまいます。生き物だけでなく、私たち人間の命も脅かされています。このプラスチックゴミは、長い間海に浮いている内にマイクロプラスチックと呼ばれる米粒よりも小さい粒になってしまい、海の生き物たちがそれをえさと間違えて食べてしまうのです。もしかするとゴミを食べた魚を、私たち人間が食べているかも知れません。とても怖いことです。

めんどくさい、捨ててしまえ、という自分勝手な考えが、動物や自分たち人間の命まで脅かすことになるのです。ゴミを捨てるのが生き物の命を奪うことになることを忘れずに、毎日を過ごしてほしいと思います。



先月末大阪で開かれたG20サミットでも、プラスチックごみを取り上げられました。プラスチックごみは、単に環境汚染の問題だけではなく、生き物の生死に関わる問題でもあることを子どもたちに知らせたいと思い、全校朝会で取り上げました。

翌日、1年生の男の子が、「校長先生、道にプラスチックのごみが落ちていたので拾って帰りました。」と話してくれました。また、「亀にささったらかわいそうだから」とごみを拾ってくれた子もいたという話も聞きました。すぐ行動に移してくれた子どもたちの純粹さに感激しました。

先週は、各学年で道徳の授業や安全教室等を通して、命や人権に関わる学習を行いました。教育週間は終わりましたが、来月は平和集会、12月には人権週間の取組等があります。今後も、あらゆる機会を通して、命の学習を続けていく予定です。